

平成 28 年 10 月 27 日

各 位

会社名 エレマテック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 加藤 潤
 (コード番号 2715 東証第一部)
 問合せ先 取締役副社長執行役員 磯上 篤生
 (TEL 03-3454-3526)

特別損失の計上、平成 29 年 3 月期連結業績予想の修正
 剰余金の配当及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社連結子会社依摩泰（上海）国際貿易有限公司の中国顧客向け売掛債権に関し、貸倒引当金繰入額を特別損失として計上することを決議いたしましたので、お知らせいたします。また、貸倒引当金繰入額の計上及び最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 3 月期第 2 四半期末の剰余金の配当を行うことを決議し、あわせて平成 28 年 4 月 27 日に公表した平成 29 年 3 月期通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想及び期末配当予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

株主の皆様及び関係各位には、ご心配ご迷惑をお掛けしますことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 特別損失の計上

依摩泰（上海）国際貿易有限公司が、中国国内の顧客である建設資材メーカーとの間で行ってまいりました取引に関し、中国国内の不動産・建設需要の低迷を背景として、金融機関の引き締めの影響等を受け、同社との取引において支払遅延が発生しております。

当社は、同社に対する売掛債権につき、その回収可能性について第 2 四半期決算に際し検討を行った結果、現時点では回収が極めて困難であると判断したため、その債権全額に対して貸倒引当金繰入額 28 億円を特別損失に計上することといたしました。なお、同社に対する取引は期初から中止しておりますが、同社は生産活動を継続しており、現地金融機関と交渉を進めております。

2. 業績予想の修正

(1) 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	220,000	6,150	6,100	4,400	214 円 91 銭
今回修正 (B)	203,500	4,850	5,100	1,300	63 円 50 銭
増減額 (B-A)	△16,500	△1,300	△1,000	△3,100	—
増減率 (%)	△7.5%	△21.1%	△16.4%	△70.5%	—
前期実績 (参考) (平成 28 年 3 月期)	216,824	6,868	6,880	5,048	246 円 58 銭

(2) 修正の理由

前回公表時の予想に比べ、スマートフォン向けデバイス及びディスプレイ関連部材の販売が低調に推移していること及び為替レートの急激な円高の影響から、通期の売上高、利益ともに悪化する見通しです。また、上記特別損失の計上も行うことから、前回公表の予想値を下回ることが見込まれるため、通期の連結業績予想を修正いたします。

3. 剰余金の配当及び期末配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	30	35	65
今 回 修 正 予 想		10	20
当 期 実 績 (平成 29 年 3 月期)	10		
前 期 実 績 (平成 28 年 3 月期)	40	35	75

(2) 修正の理由

当社は、年間配当金について、連結当期純利益の 30%をその原資とすることを基本方針としております。

今般、上記業績予想の修正を踏まえ、配当金について改めて算出し、平成 29 年 3 月期第 2 四半期末の剰余金の配当につきましては、本日開催の取締役会において、1 株当たり 10 円とすることを決議させていただきました。また、期末配当予想につきましては、1 株当たり 10 円に修正させていただきます。

これにより年間連結配当性向は、31.5%となる見込みです。

4. 今後の予定

当社は同社に対する債権回収に注力してまいります。なお、大幅な業績の下方修正及び配当額の引き下げを行った経営責任として、当事業年度にかかる取締役に対する役員賞与を不支給にいたします。また、下記のとおり役員報酬の自主返上の申し出があり、これを受け入れることとしましたので、お知らせいたします。

(1) 役員報酬減額の内容

代表取締役社長	月額報酬の 20%を減額
取締役副社長執行役員	月額報酬の 20%を減額

(2) 減額の期間

平成 28 年 11 月から平成 29 年 1 月までの期間（3 ヶ月）

(注)

上記の予想は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記の予想と異なる場合があります。

以 上